

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2374500516
事業所名	グループホームさくら・ひまわり

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し回覧板で情報を得ている。コロナ禍により自治会主催の盆踊りや運動会は中止となり、近隣の保育園児との相互訪問も自粛している。また、ボランティアの受け入れや中学生の職場体験なども見合わせている。感染状況を確認しながら、防犯パトロールに参加したり近隣の方と散歩で声を掛け合うなどの交流は継続をしている。看護学生や介護学生、実務者研修などの実習生は感染対策をして受け入れ学びの機会を確保している。来年は開設20周年にあたり、記念行事を家族や地域参加で行う予定としている。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 家族、地域住民、市職員の参加を得て年5回実施しているが、今年度もコロナ禍により書面で開催している。例年では、事業所の運営状況や活動内容を報告したり外部評価の結果の報告や取組みなどを伝え、参加者からの情報や意見、提案はその場で話し合ったり、職員会議などで協議し運営に活かしている。議事録の発送が遅れているが今後順次届ける予定としている。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 通常であれば、市の担当者が運営推進会議や施設行事に参加しているため、施設の実情やケアサービスの取組みなどを常に報告や相談ができる体制にあり良好な協力関係を築いている。市主催の研修会などは、コロナ禍ではあるが状況を見ながらズーム研修や対面の研修にも参加している。管理者は地域ケア会議や居場所部会の委員として地域活動の担い手となっているが現在の活動は休止している。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者からは日々の関わりの中から要望などを聞くようにしている。家族からは面会時や電話などで意見や要望を聞くようにしている。コロナ禍により行事などは自粛しているが、家族の要望に応じて玄関先での面会やライン連絡も取り入れ対応している。意見や要望は、記録して会議等で話し合い、職員間で共有してケアや接遇などの改善に役立てている。毎月、担当職員から日々の活動や生活の様子などを手紙にしたり、「さくら・ひまわり通信」やブログを発信して家族に安心を届け信頼関係を築いている。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。		○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。		○
○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。			○
総合評価			○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
	(例示)
2. 事業所と地域のつきあい	① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎	○								

【備考欄】

コロナ禍で外出の自粛もあるが、感染に配慮しドライブで海に出掛けたり、イルミネーションや季節の花見など機会あるごとに少人数での外出支援に心がけている。今後コロナの感染状況を見ながら家族の協力を得ながら季節の花見や水族館、テーマパークなどの外出支援や誕生日外出などができる日が来ることを心待ちにしている。中庭の広いウッドデッキで四季の変化が楽しめる木々や草花に囲まれてお茶会や日向ぼっこ、洗濯干しや落ち葉の掃除など自分ができることを楽しみながら行っている。食事は季節の旬の食材を取り入れた献立で毎食手作りし、毎週木曜日の「考えるメニューの日」には入居者の希望を聞いて寿司を注文したり、刺身定食や鍋料理、豆ごはん、おやつなどを作り食べる楽しみに繋げ、美味しくいただき元気に過ごせるようにしている。